学校番号	3030

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　高等学校　地学基礎（数研出版）						
副教材等	改訂版　リードα地学基礎（数研出版） 新課程 二訂版スクエア最新図説地学（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学では、固体地球（プレートテクトニクス・地震・火山）、地層と地球の歴史、大気と海洋、宇宙について、学習していきます。地学の特徴は、何といってもその空間的・時間的なスケールの大きさです。最初のうちは戸惑うかもしれませんが、地学的なスケールでの現象のとらえ方に少しずつ慣れていきましょう。また地学は、地球と宇宙で起きる幅広い現象を扱う、総合的な科学です。理科の他の科目（化学・物理・生物）や、社会科などとも深く関連する内容があります。これらの知識を使いながら学ぶことで、地学という科目の奥の深さが見えて来ると思います。

地学で扱う内容は、多岐に渡りますが、例えば地球の歴史や生物の進化、宇宙探査などは、非常に好奇心をそそられる、ロマンに満ちたテーマです。また一方で、地学で扱う現象は、防災や資源・環境問題など、私たちの生活に身近な事柄が多く含まれています。地学基礎を学ぶ皆さんは、地学で学ぶ内容を教科書の中だけの知識とせず、自分の身近で起きる現象と結び付けながら、論理的に考える習慣を身に着けて欲しいと思います。

地学基礎の授業では、まず教科書などの教材をしっかりと読み、基本的な事柄や考え方をしっかりと理解することが大事です。用語や数値の暗記のみにとらわれず、現象が起きるしくみを正しく理解できるように心がけて下さい。また、実験や観察を通して、実物に触れながら学習する機会を多く設けたいと思っていますので、自分の目で注意深く観察し、自分の頭でしっかりとその理由を考察し、積極的に授業に取り組むようにして下さい。

2　学習の到達目標

(1)自然界で起きる様々な地学現象は、すべて物理的・化学的な法則性に基づいて営まれており、極めて多様な因果関係の末に起きていることを理解する。現在の宇宙や地球や生命が、長い歴史の中でどのように形成されて来たかや、固体地球・大気・海洋がそれぞれ絶えず変化し、互いに関連しあうことで、システムとして動いていることを理解する。
(2)自然から与えられる恩恵や災害などについて、正しい知識をもつこと、およびその知識について論理的に考え、行動できるようになる『思考力・判断力・表現力』を身につける。
(3)私たちを取り巻く地球環境の現状について考え、持続可能な社会づくりに貢献しようとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地学で扱う各事象について、基本的な概念を的確に理解しており、そのうえで多様な知識を整理された形で身につけている。 地球や宇宙で起きる様々な現象を、科学的視点から理解し、その知識を応用・発展させることができる技能を身につけている。	地学的事象の中に問題を見いだし、実験や観察などの探究的過程を通して、地学で扱う各事象について、習得した知識をもとに科学的に考察することができている。 また、地学的事象について理解した事柄や思考した結果について、適切な言葉で表現することができている。	固体地球や大気・海洋、地球の歴史、宇宙といった様々な地学的事象について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 身近に観察できる地学現象に関心を持ち、日々の暮らしとの関わりについて考え、生活改善や社会改善に役立てようとする姿勢がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	活動する地球	地球の形と大きさ 地球の構造	a:地球の内部構造やプレートの構造や運動について理解し、知識を身につけている。 a:火成岩やそれを構成する鉱物について理解し、知識を身につけている。 b:地球の形や大きさ・密度等について、理論的に考え、計算することができる。 b:地震や火山噴火のしくみ、造山運動や変成作用を、プレートの運動から説明し、表現することができる。 c:地震災害や火山災害に関心を持ち、探究的に学習できている。	定期考査 確認テスト	定期考査 実験・観察	提出課題 レポート
		プレートテクトニクスと 地殻変動 プレートの運動のしかた				
		地震 地震の分布 地震災害				
		火山活動 火成岩 火山がもたらす恵みと災害				
	移り変わる地球	堆積作用と堆積岩 地層の形成	a:地層や地形が形成されるしくみについて、適切に理解できている。 a:堆積岩の種類について、適切に理解できている。 b:地層の堆積構造や地質構造から、読み取れることを考察し、適切に表現できる。 b:化石から過去の地球環境や生命について、考察することができる。 c:地球の歴史と生物進化について関心を持ち、探究的に学習できている。	定期考査 確認テスト	定期考査 実験・観察	提出課題 レポート
後期		化石と地質時代の区分 古生物の変遷				
	大気と海洋	大気の構造 地球の熱収支	a:大気圏や気象現象のしくみについて理解し、知識を身につけている。 a:日本の天気の特徴について、天気図をもとに、理解することができている。 b:地球のエネルギー収支や熱輸	定期考査 確認テスト	定期考査 実験・観察	提出課題 レポート

		大気の大循環 海水の運動 日本の天気と気象災害	送について、グラフや計算を用いて、考察することができる。 b:気圧と大気の循環の関係について、論理的に考え、表現することができる。 c:気象災害や天気予報に関心を持ち、防災の意識を持って、探究的に学習できている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度